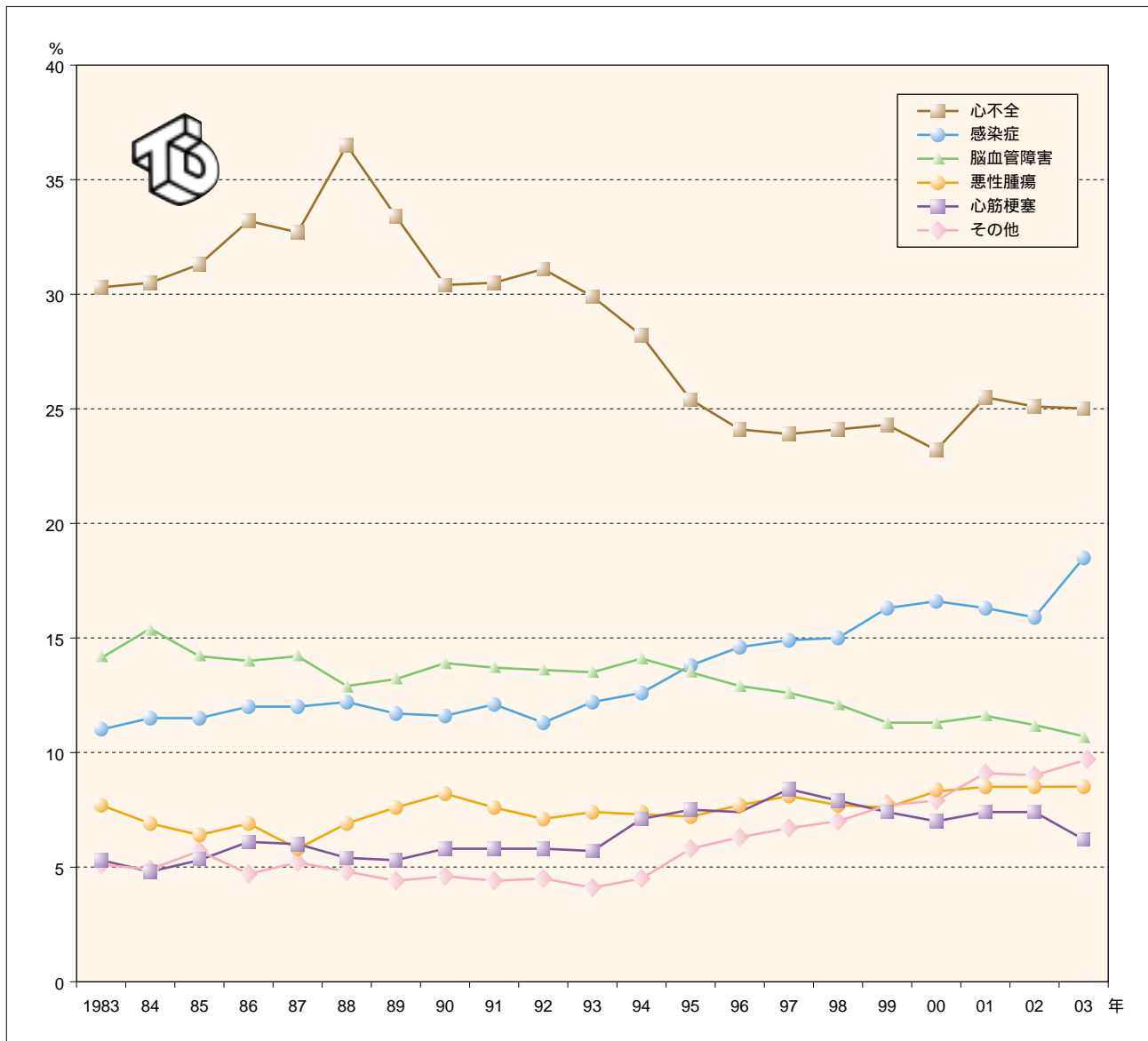


5) 死亡原因

(3) 年別死亡原因の推移 (図表18)



解説

年別死亡原因の推移

死亡原因の第1位は心不全です。2000年までは減少傾向がみられましたが、2001年よりやや増加傾向がみられます。第2位は感染症ですが、2003年には急増していることが認められます。高齢者や糖尿病による患者数の増加が影響していると考えられます。これに対して脳血管障害は減少傾向にあり、血压管理が良好になされている可能性があります。心筋梗塞もやや減少傾向にあり、カテーテルインターベンション(PTCA)などによる治療の効果が影響していると推測されます。